

日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

2024年度（2025年3月期）第2四半期（中間期）

1. 決算概要

- 1-1. 2024年度 第2四半期（中間期）決算
- 1-2. セグメント別実績
- 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
- 1-4. セグメント情報詳細

2. 2024年度業績予想

- 2-1. 2024年度業績予想
- 2-2. セグメント別予想
- 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
- 2-4. セグメント情報詳細

3. 主な指標

- 3-1. 経営目標
- 3-2. BS項目
- 3-3. CF項目

1. 決算概要

1-1. 2024年度 第2四半期（中間期） 決算

単位：百万円

	2024年度 第2四半期（中間期）	2023年度 第2四半期（中間期）	前年同期比増減	前年同期比
売上高	261,170	254,839	+6,330	102.5%
海外売上高比率	25.3%	20.5%	—	—
営業利益	10,344	11,545	△1,201	89.6%
売上高営業利益率	4.0%	4.5%	—	—
経常利益	8,913	11,132	△2,219	80.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益	7,520	7,976	△455	94.3%

1-2. セグメント別実績

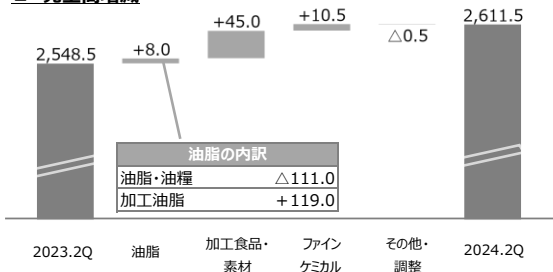
単位：百万円

	2024年度 第2四半期（中間期）	2023年度 第2四半期（中間期）	前年同期比増減	前年同期比
売上高	261,170	254,839	+6,330	102.5%
油脂	212,234	211,417	+816	100.4%
油脂・油糧	151,034	162,110	△11,076	93.2%
加工油脂	61,199	49,306	+11,892	124.1%
加工食品・素材	37,347	32,864	+4,482	113.6%
ファインケミカル	10,372	9,301	+1,070	111.5%
その他・調整	1,216	1,255	△39	96.8%
営業利益	10,344	11,545	△1,201	89.6%
油脂	8,191	11,035	△2,844	74.2%
油脂・油糧	5,231	8,839	△3,608	59.2%
加工油脂	2,959	2,195	+764	134.8%
加工食品・素材	1,483	121	+1,361	1217.6%
ファインケミカル	903	622	+281	145.3%
その他・調整	△233	△233	△0	—

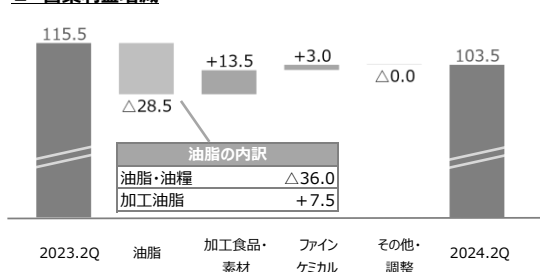
1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>

○油脂

- ・国内油脂における汎用品、ミールの販売単価低下（↓）
- ・業務用、加工用、ミールの販売数量増加（↑）
- ・ホームユースの販売数量減少（↓）
- ・国内加工油脂の販売数量増加および販売単価上昇（↑）
- ・海外加工油脂の販売数量増加および販売単価上昇（↑）
- ・海外加工油脂における為替換算の影響（↑）

○加工食品・素材

- ・チョコレートの販売単価上昇（↑）

○ファインケミカル

- ・化粧品原料の販売数量増加および販売単価上昇（↑）

<営業利益増減要因>

○油脂

- ・オリーブオイルの原価上昇（↓）
- ・国内油脂の粗利単価低下、物流費の増加（↓）
- ・国内加工油脂の販売数量増加および粗利単価向上（↑）
- ・海外加工油脂の販売数量増加および粗利単価向上（↑）
- ・パーム油取引の時価評価損益の影響（↓）

○加工食品・素材

- ・チョコレートの販売単価上昇による粗利単価向上（↑）
- ・MCTの適正価格での販売（↑）

○ファインケミカル

- ・化粧品原料の販売数量増加および販売単価上昇（↑）

1-4. セグメント情報詳細

油脂（うち油脂・油種）

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
国内油脂	91,974	△8,618	△3,553	・業務用・加工用ならびにミールの販売数量増加による増収要因はあるものの、ホームユースの販売数量減少や油脂の販売単価低下により減収 ・汎用品の粗利単価低下およびオリーブオイルにおける原価上昇の影響に加え、物流費の増加もあり減益
業務用・加工用	57,910	△5,558		
ホームユース	34,064	△3,060		
ミール	43,249	△2,631		
子会社	39,576	△70	△83	
連結調整 他	△23,765	+244	+28	
油脂・油種 計	151,034	△11,076	△3,608	

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
21%	+1,410

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+0.5	業務用・加工用（+4.0）、ホームユース（△3.5）
販売単価要因	△80.0	業務用・加工用（△73.5）、ホームユース（△6.5）
コスト要因	+52.5	
大豆	+15.5	C&F（+86.5）、為替（△52.0）、ミール販売（△19.0）
菜種	+24.5	C&F（+80.5）、為替（△38.5）、ミール販売（△17.5）
その他商品・製造費	+12.5	期首期末在庫影響等
販管費・その他	△8.5	
合計	△35.5	

油脂（うち加工油脂）

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
海外加工油脂	66,424	+15,060	+431	・販売数量増加、販売単価上昇に加え、為替換算の影響もあり増収 ・パーム油取引の時価評価損益（当期△9.5億円、前期+3.5億円）の影響があるものの、販売数量増加および粗利単価向上により増益
欧州	29,167	+7,589		
アジア	33,243	+7,143		
その他地域	4,013	+327		
国内加工油脂	7,536	+407	+221	・販売数量増加および粗利単価向上により増収増益
連結調整 他	△12,762	△3,575	+111	
加工油脂 計	61,199	+11,892	+764	

補足：海外加工油脂の販売数量増減率（増減率は前年同期比）

	販売数量増減率
海外加工油脂	+9%
欧州	+10%
アジア	+9%
その他地域	△4%

補足：海外加工油脂に占めるチョコレート用油脂を中心としたスペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
39%	+6%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+14.0	スペシャルティファット（+2.0）、その他（+12.0）
販売単価要因	+36.0	スペシャルティファット（+17.5）、その他（+18.5）
コスト要因	△34.0	
原料代	△29.0	
製造費 他	△5.0	
販管費・その他	+1.0	
パーム油取引時価評価	△13.0	当期△9.5億円、前年同期+3.5億円
合計	+4.0	

1-4. セグメント情報詳細

加工食品・素材

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	20,881	+4,550	+776	・原料コスト上昇に伴う販売価格改定等により増収増益
調味料	2,587	+58	+92	・ドレッシングの新商品の上市により増収増益
機能素材・食品	4,628	△190	+466	・MCTの原料価格低下に伴う販売単価低下により減収 ・適正価格での販売により増益
MCT	3,568	△289		
大豆素材・食品	11,364	+310	+26	
連結調整 他	△2,113	△246	△1	
加工食品・素材 計	37,347	+4,482	+1,361	

ファインケミカル

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	8,835	+1,141	+221	・化粧品原料の販売数量増加および販売単価上昇により増収増益
環境・衛生	3,085	△10	+47	
連結調整 他	△1,548	△60	+13	
ファインケミカル 計	10,372	+1,070	+281	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
5,886	+1,226

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2023年度第2四半期	141.06	153.45	30.82	19.75	0.0094
2024年度第2四半期	152.78	166.07	33.25	21.16	0.0096

2. 2024年度業績予想

2-1. 2024年度業績予想

単位：百万円

	2024年度 予想	2023年度 実績	前期比増減	前期比	(参考) 2024年度5月開示
売上高	535,000	513,541	+21,458	104.2%	535,000
営業利益	21,000	20,840	+159	100.8%	21,000
経常利益	20,000	20,033	△33	99.8%	20,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,500	15,148	△648	95.7%	14,500

2-2. セグメント別予想

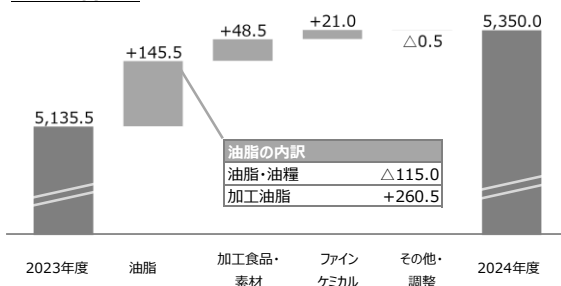
単位：百万円

	2024年度 予想	2023年度 実績	前期比増減	前期比	(参考) 2024年度5月開示
売上高	535,000	513,541	+21,458	104.2%	535,000
油脂	436,500	421,973	+14,526	103.4%	435,500
油脂・油糧	306,500	317,995	△11,495	96.4%	311,000
加工油脂	130,000	103,978	+26,022	125.0%	124,500
加工食品・素材	75,000	70,129	+4,870	106.9%	77,000
ファインケミカル	21,000	18,884	+2,114	111.2%	20,000
その他・調整	2,500	2,553	△53	97.9%	2,500
営業利益	21,000	20,840	+159	100.8%	21,000
油脂	17,700	18,981	△1,281	93.2%	17,500
油脂・油糧	10,900	14,478	△3,578	75.3%	11,250
加工油脂	6,800	4,503	+2,296	151.0%	6,250
加工食品・素材	2,200	990	+1,209	222.1%	2,700
ファインケミカル	1,600	1,208	+391	132.4%	1,100
その他・調整	△500	△340	△159	-	△300

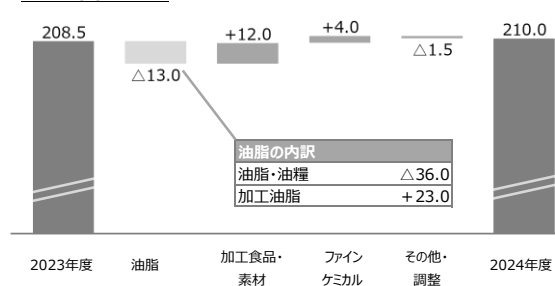
2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>

- 油脂
 - ・ 国内油脂における汎用品の販売単価低下（↓）
 - ・ ミール相場下落に伴うミールの販売単価低下（↓）
 - ・ 業務用、加工用、ミールの販売数量増加（↑）
 - ・ 海外加工油脂の販売単価上昇（↑）
- 加工食品・素材
 - ・ チョコレートの販売単価上昇（↑）
 - ・ 醸造用ミールの販売数量減少（↓）
- ファインケミカル
 - ・ 化粧品原料等の販売数量増加（↑）

<営業利益増減要因>

- 油脂
 - ・ オリーブオイルの原価上昇（↓）
 - ・ 国内油脂の粗利単価低下、物流費の増加（↓）
 - ・ 海外加工油脂の粗利単価向上（↑）
 - ・ パーム油取引の時価評価損益の影響（↑）
- 加工食品・素材
 - ・ チョコレートの粗利単価向上（↑）
 - ・ MCTの販売数量増加および適正価格での販売（↑）
- ファインケミカル
 - ・ 化粧品原料の販売数量増加、適正価格での販売（↑）

2-4. セグメント情報詳細

油脂（うち油脂・油種）

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
国内油脂	185,387	△7,389	△3,397	・業務用、加工用ならびにミールの販売数量増加による増収要因はあるものの、油脂の販売単価低下により減収 ・汎用品の粗利単価低下およびオリーブオイルにおける原価上昇の影響に加え、物流費の増加もあり減益
業務用・加工用	116,597	△5,347		
ホームコース	68,790	△2,042		
ミール	83,035	△11,667		
子会社	82,592	+5,035	△232	
連結調整 他	△44,515	+2,526	+50	
油脂・油種 計	306,500	△11,495	△3,578	

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
21%	+3,783

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+6.5	業務用・加工用（+8.0）、ホームコース（△1.5）
販売単価要因	△85.5	業務用・加工用（△91.0）、ホームコース（+5.5）
コスト要因	+59.5	
大豆	+39.0	C&F（+170.5）、為替（△52.5）、ミール販売（△79.0）
菜種	+48.5	C&F（+136.0）、為替（△42.0）、ミール販売（△45.5）
その他商品・製造費	△28.0	オリーブオイルの原価上昇等
販管費・その他	△14.5	
合計	△34.0	

油脂（うち加工油脂）

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
海外加工油脂	135,855	+26,825	+2,220	・販売単価上昇により増収 ・粗利単価向上に加え、パーム油取引の時価評価損益（当期0億円、前期△8.0億円）の影響により増益
欧州	58,906	+12,578		
アジア	68,643	+13,413		
その他地域	8,304	+833		
国内加工油脂	16,194	+1,426	+113	
連結調整 他	△22,049	△2,229	△37	
加工油脂 計	130,000	+26,022	+2,296	

補足：海外加工油脂の販売数量増減率（増減率は前期比）

	販売数量増減率
海外加工油脂	+3%
欧州	+0%
アジア	+5%
その他地域	△7%

補足：海外加工油脂に占めるチョコレート用油脂を中心としたスペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
39%	+4%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+3.5	スペシャルティファット（+1.0）、その他（+2.5）
販売単価要因	+158.0	スペシャルティファット（+60.5）、その他（+97.5）
コスト要因	△150.0	
原料代	△144.0	
製造費 他	△6.0	
販管費・その他	+3.0	
パーム油取引時価評価	+8.0	当期0億円、前期△8.0億円
合計	+22.5	

2-4. セグメント情報詳細

加工食品・素材

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
チョコレート	46,346	+8,617	+227	・販売単価の上昇により増収増益
調味料	5,044	+194	+98	・ドレッシングの新商品の上市により増収増益
機能素材・食品	9,496	+324	+727	・MCTの販売数量増加および適正価格での販売により増収増益
MCT	7,323	+169		
大豆素材・食品	18,771	△3,843	+164	・醸造用ミールの販売数量減少により減収。粗利単価向上により増益
連結調整 他	△4,659	△421	△8	
加工食品・素材 計	75,000	+4,870	+1,209	

ファインケミカル

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ファインケミカル製品	17,618	+2,135	+331	・化粧品原料の販売数量増加および適正価格での販売により増収増益
環境・衛生	6,540	+144	+37	
連結調整 他	△3,159	△165	+22	
ファインケミカル 計	21,000	+2,114	+391	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
11,796	+1,985

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2023年度	144.59	156.75	31.15	20.13	0.0094
2024年度	152.29	165.66	33.41	21.13	0.0096

3. 主な指標

3-1. 経営目標

	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想
売上高	百万円	556,565	513,541	535,000
営業利益	百万円	16,186	20,840	21,000
ROE	%	7.0%	8.8%	8%以上
ROIC	%	4.5%	5.1%	5%以上

3-2. BS項目

	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想
総資産	百万円	374,453	393,382	408,000
運転資本	百万円	154,547	151,758	141,000
自己資本	百万円	162,559	182,622	188,000
有利子負債	百万円	105,814	96,946	105,000
投下資本	百万円	268,374	279,568	293,000
自己資本比率	%	43.4%	46.4%	46.1%
ネットD/Eレシオ	倍	0.57	0.42	0.46

3-3. CF項目

	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想
営業キャッシュフロー	百万円	398	36,715	37,000
投資キャッシュフロー	百万円	△ 6,143	△ 16,083	△ 40,000
財務キャッシュフロー	百万円	6,342	△ 14,586	1,000

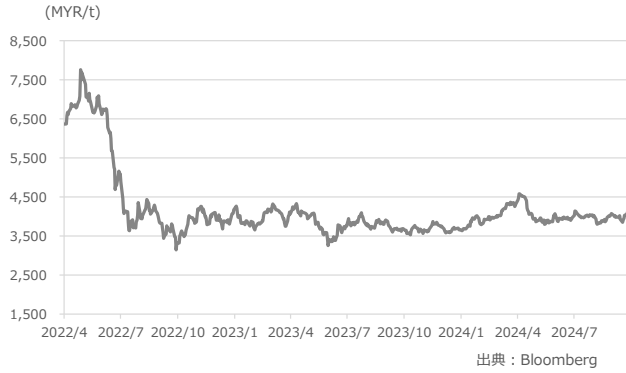
■ シカゴ大豆相場



■ ICE菜種相場



■ パーム原油相場



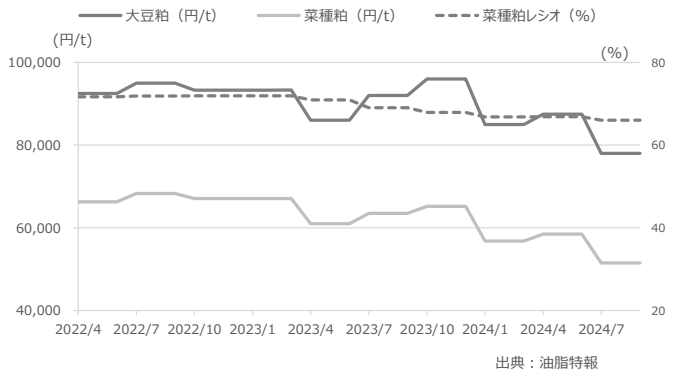
■ 為替相場 (円/ドル)



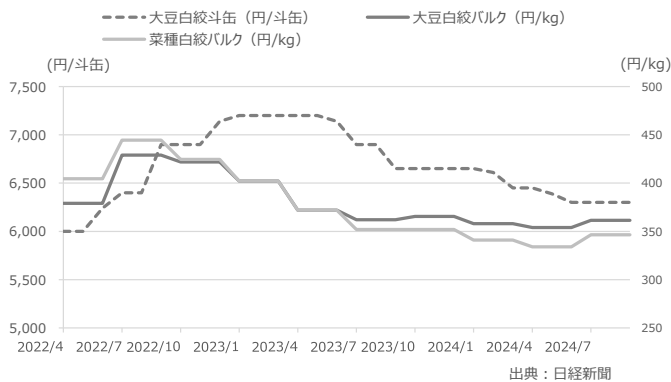
■ ミールバリュー推移



■ ミール業界平均価格

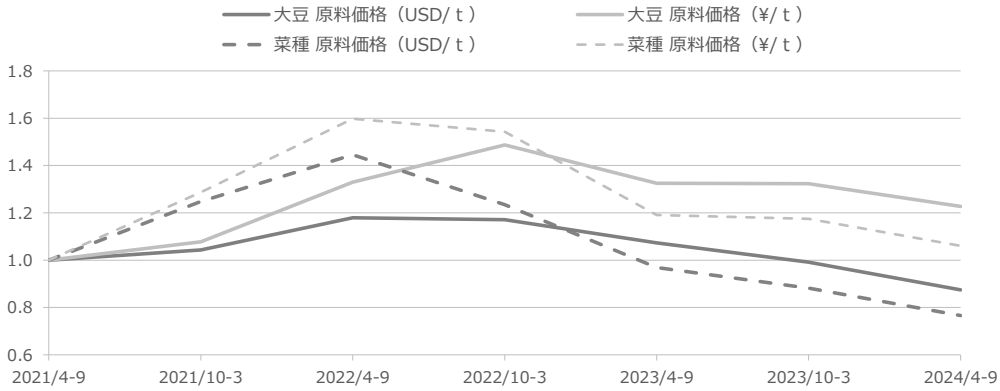


■ 日経市中相場 (業務用斗缶)

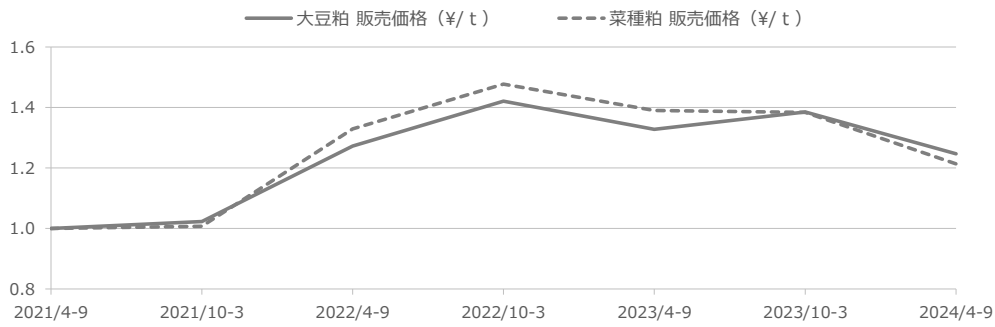


※2021年4-9期を1とした指数
出典：日清オイリオグループ(株)の数値

■ 原料（大豆・菜種）



■ 油粕（大豆・菜種）



■ 油脂主要商品の販売価格（ギフトを除く、加重平均単価）

